

ごみについて考えよう!

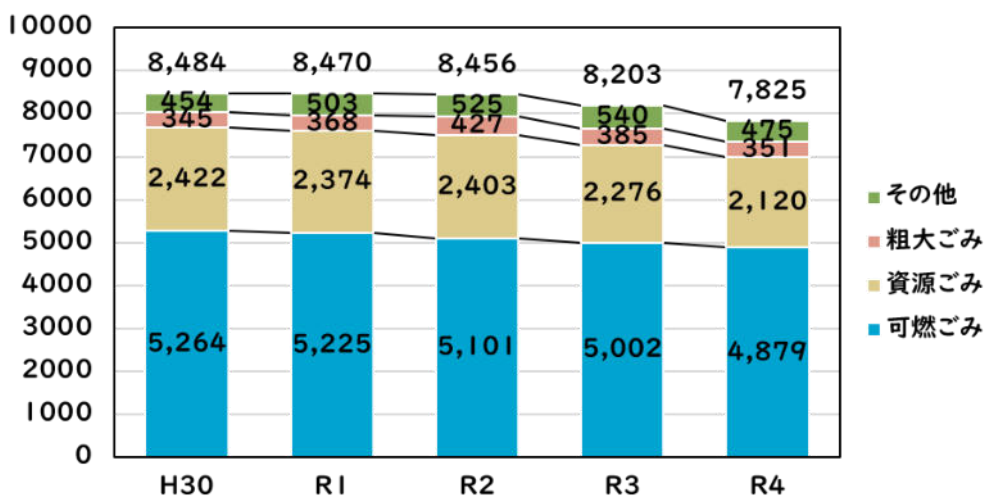


私たちは、生活する中で必ずごみを発生させます。そのため、ごみを出す者としての責任があります。できるだけごみを生まない行動を心がけ、また、ごみとなってしまうものを適正に分別して出すなど、皆さん一人ひとりの行動が、豊かな未来を作っていきます。ここで、ごみについてちょっと考えてみましょう。

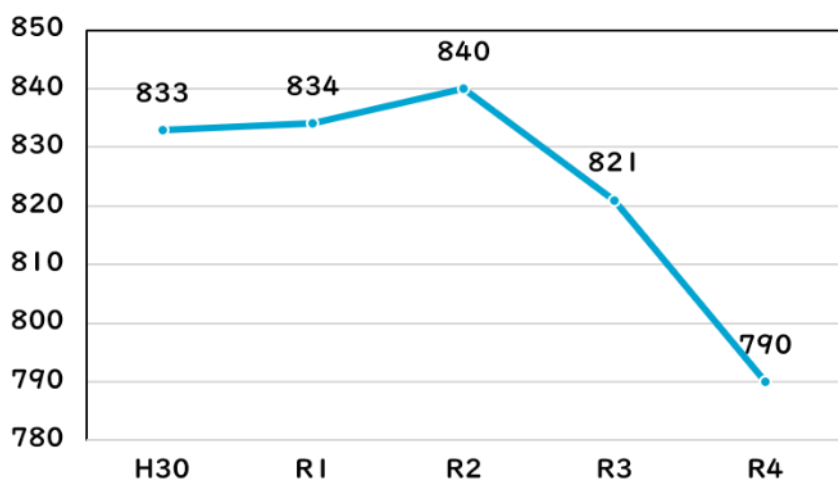
廃棄物

令和4年度はごみ回収量が7,825 (t)トンとなり、その内訳は、可燃ごみが約6割 (4,879t)、資源ごみが約3割 (2,120t)、その他のごみが約1割 (826t)となっています。また、1人1日当たりのごみの排出量は790gとなっています。

ごみ回収量の推移



原単位 (1人1日当たりの排出量)



ごみが増えることによる影響



収集運搬する時の排気ガスや焼却処理する時のCO2の発生量に影響します。CO2の排出は地球温暖化の要因にもなっているため、環境にできるだけCO2を排出させない取り組みが必要です。

①CO2の排出などによる環境面



ごみの量に応じて処理や維持・管理するためのコストなどにも影響します。これらのコストは皆さんの税金などから負担されています。また、ごみを排出する際に使用する「指定ごみ袋」は、各家庭で有料で購入しています。ごみの量が増加すると、税金や各家庭の負担など、様々なコストにも大きく影響することになります。

②処理・処分などのコスト面

可燃ごみ削減

ごみを減らすための方法には何があるでしょうか。ごみの効果的な減量化の方法の一つに「3R (スリーアール)」があります。3Rとは、Reduce (発生抑制)、Reuse (再利用)、Recycle (再生利用) のことです。

※発生抑制 (発生をおさえること)

Reduce (リデュース)

- ・不要なものは買わない
- ・不要なものはもらわない
- ・詰め替え可能なものを利用する

Reuse (リユース)

- ・使えるものは繰り返し使用する

Recycle (リサイクル)

- ・きちんと分別して、資源として再生利用する

この他にこんな「R」もあります。

- ・Repaire (リペア・修理)
- ・Renewable (リニューアブル・再生可能な資源に替える)

開催中

こども版気候市民会議 の活動報告

現在、二宮町では、小学4年生～中学3年生を対象に、こども版気候市民会議（全4回）を開催しており、17人の子どもたちと共に地球温暖化対策について、様々な視点で学んでいます！

第1回・第2回では、環境工作体験、自然探検ツアーなどの体験を通じて、エネルギーや自然環境の大切さ、生物多様性の重要性などについて考えてもらいました！

第3回と第4回は、ここまでの学びを活かしてみんなで「地球温暖化対策で、どんなことができるのか」をまとめていきます！

まとめた結果を皆さんにも共有するので、ぜひ皆さんも自分のできることを考えてみましょう！

8月24日（日）に4回目を開催しますので、興味がある方は、ぜひ見学に来てください！



第1回と第2回の様子



町ホームページはこちら



第1弾（5月18日）実施

山林整備で出た間伐材（竹）を活用した工作体験（ソーラー竹灯籠づくり）や座学を通じ、地球温暖化の現状を学びました。



第2弾（6月7日）実施

一色地区にある自然との共生を目指した農場や再生可能エネルギー施設を探索し、地球温暖化緩和策・対応策のほか、生物多様性の大切さや自然の恵みの素晴らしさと自然との共生の難しさを学びました。

